

次年度の国庫補助について
【申請概要案】

1. 令和5年度の申請内容

以下の①～⑤の事業の実施に向けた準備・検討

①外出を促進する予約型乗合タクシーの運行

- 既存の路線バスを見直し、予約型の乗合タクシーを運行する(Door to Doorによる運行)
- 運賃は定額制の仕組みとして、外出を促進
- 定額会員に対しては、幹線となる路線バスの割引き料金等を検討

②行政施設を活用した買い物拠点整備との連携

- 関金支所・総合文化センターは交通結節点として位置付ける
- 関金支所には地域商店を設置し、買物環境を整備

③乗合タクシーを活用した高齢者等への買い物支援

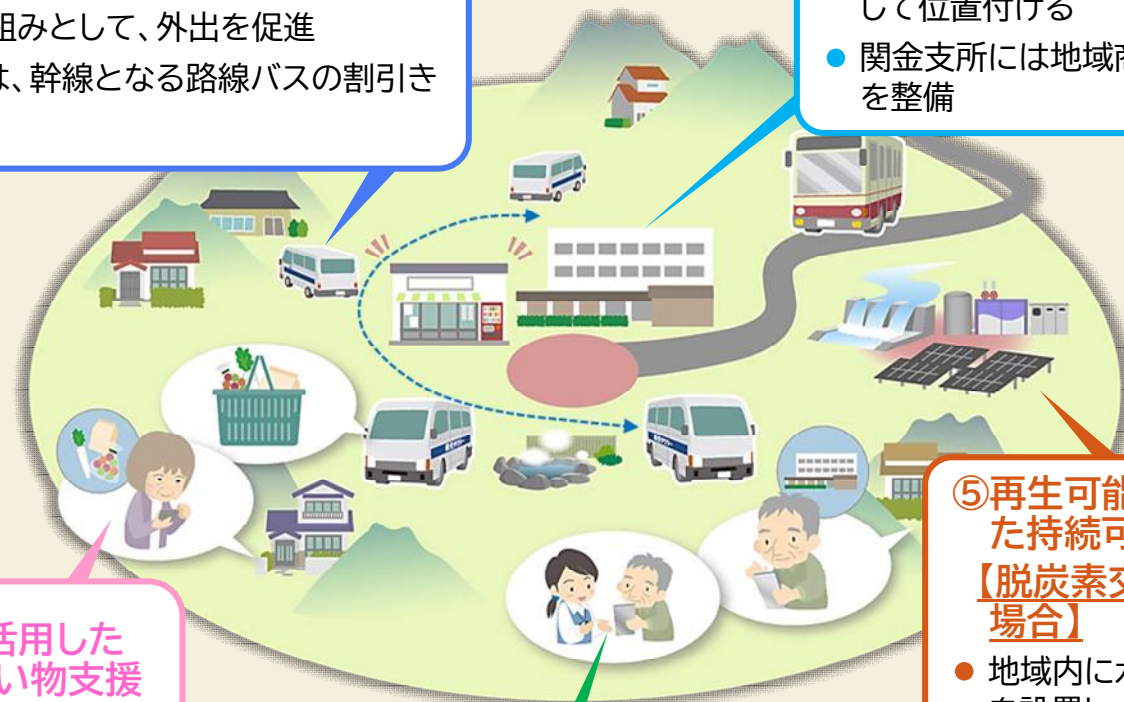
- 地域商店では買い物代行サービスを行い、スマホによる受付可能な仕組みを構築する。
- 乗合タクシーの空き時間を活用した宅配を行う

④高齢者等へのIT利活用の推進と支援

- 予約型乗合タクシーや買い物代行サービスは、スマホによる受付も可能な仕組みとする
- 上記を支援するため、高齢者等向けのスマホの使い方教室を行いIT利活用を支援する

⑤再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの検討 【脱炭素交付金が採択された場合】

- 地域内に水力発電や太陽光パネルを設置し、売電収益を乗合タクシーの運行に充てる仕組みを試行
- 将来的には、売電収益をもとに電力会社から交通事業者等に運行を委託する仕組みを検討し、関金版シュタットベルケを目指す



1. 令和5年度の調査・説明会から

<高齢者の暮らし(交通・買い物環境)について>

- バス利用は少なく、高齢者は70代まで免許証を保有し生活せざるを得ない状況
- 特に前期高齢者で将来の生活に不安をかかえながら生活しており、その理由も買い物環境や移動手段の不足があげられている
- こうした中で、免許証の保有率が5割になる80歳以上の高齢者から外出回数や買い物頻度が減少する傾向
- 70歳以上から買い物支援の利用意向も高くなる一方、特に80歳以上では買い物支援の認知度が他より低いことがわかった



乗合タクシーの運行や買い物支援について地域との連携のもと高齢者への利用促進が重要

<拠点機能について>

- 関金支所・総合文化センターには、「関金ストア」が、今年3月末にオープン予定！！
- 拠点機能に関する意見では、「バスや乗合タクシーの位置情報や接近情報がわかるサービス」を求める回答が最も多く、他にもさまざまなアイデアが寄せられた
- 世代を超えて、地域の拠点づくりに関する意見が自由意見では見られる



乗合タクシーの位置情報が確認できる仕組みについても要検討

<まちづくりやシュタットベルケの仕組みについて>

- 環境問題やシュタットベルケの仕組みについて、世帯主ではいずれの世代も関心が高い
- 若い世代では、観光など交流人口を増やす取組への関心が高い
- 説明会では、乗合タクシーに地域外からの利用もできるようにしてほしいといった意見もでている



関金地区の魅力を乗合タクシーでつなぎ、関金全体の振興を目指す。
再生可能エネルギーも活用した持続可能な住みよいまちづくりを！！！！

1. 令和6年度の申請内容(案)

以下の①～⑤の事業の実施・検討

4

①外出を促進する予約型乗合タクシーの運行

- 既存の路線バスを見直し、予約型の乗合タクシーを運行する(Door to Doorによる運行)
- 運賃は定額制の仕組みとして、外出を促進
- 定額会員に対しては、幹線となる路線バスの割引き料金等を検討

拠点では、乗合タクシーの位置情報が確認できる仕組みを構築する

②生活・観光拠点と乗合タクシーの連携による新たなサービス等の検討

- 3月末オープン「関金ストア」も含めて、拠点の利活用について検討
- 例えば、関金ストアも含めた地域内施設において乗合タクシー利用者向けのサービスの検討や、コミセンとの連携などを検討

③乗合タクシーを活用した高齢者等への買い物支援

- 地域商店では買い物代行サービスを行い、スマホによる受付可能な仕組みを構築する。
- 乗合タクシーの空き時間を活用した宅配を行う

④高齢者等へのIT利活用の推進・支援と地域との連携による利用促進

- 予約型乗合タクシーや買い物代行サービスは、スマホによる受付も可能な仕組みとする
 - 上記を支援するため、高齢者等向けのスマホの使い方教室を行いIT利活用を支援する
- 高齢世帯への個別訪問・周知や試乗会の開催など、地域との連携により、乗合タクシーおよび買い物支援の利用促進を行う

⑤再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの検討

【脱炭素交付金が採択された場合】

- ②の活動なども含めて、再生可能エネルギーを活用した仕組みの運用に向けて、地域住民の機運を高める
- 地域内に水力発電や太陽光パネルを設置し、売電収益を乗合タクシーの運行に充てる仕組みを試行
- 将来的には、売電収益をもとに電力会社から交通事業者等に運行を委託する仕組みを検討し、関金版シユタットベルケを目指す

New

New

New

New

4. スケジュール(令和6年度)

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R6年度共創モデル実証PJ交付決定	----->											
乗合タクシー運行に関する準備	住民説明会 ↔		地域公共交通会議承認・申請 →		住民説明会・広報・試乗会等 ↔							
	車両準備 → ・ハイエース ・アウトランダー			システム導入準備 ↔								
			地域内施設との連携策の検討 ↔									
買い物支援に関する運用検討・システム構築	←-----→											
乗合タクシーの実証実験							実証実験 ←-----→					
実証実験の評価・検証 (路線バス乗降調査・アンケート調査等)								←-----→				

関金地区版シュタットバルケ共創プラットフォーム

